

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミラサカ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三次市三良坂町皆瀬10075番地1

(3) 業種

2453 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準とし、令和7年度から令和11年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え

当社は、環境保全を経営の重要課題と位置づけており、環境に配慮した事業活動に努め、環境負荷の低減を推進し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- ①省エネルギー、省資源への推進
- ②新エネルギーへの転換推進
- ③廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- ④環境保全活動への積極的な参加
- ⑤社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（25）年度	令和（6）年度
二酸化炭素	45,039	30,496

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（25）年度	令和（6）年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（25）年度	令和（6）年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上高－原材料費

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (2 5) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (1 1) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	41,889	6,890	6.1	50.3	25,100	8,320	3.0
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	41,889	6,890	6.1	50.3	25,100	8,320	3.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	15,780	6,890	2.29	50.2	9,455	8,320	1.14
目標設定の考え方	リョービグループでの削減目標があり、その中でリョービミラサカのCO ₂ 排出量削減目標は2018年比で2030年までに40%減としている。それに基づき、平成25年（2013年）比で令和11年（2029年）の目標値を計算し、上記原単位の値で50%減を目指します。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	A重油使用量を令和6年度比26%削減する。	温室効果ガス排出の少ない燃料への転換（A重油 → LNG）
2	燃料使用量の削減	溶解炉のLNG使用量を令和5年度比2.5%削減する。	溶解炉のバーナーの空気と燃料の比率調整により、燃費を向上させる。
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

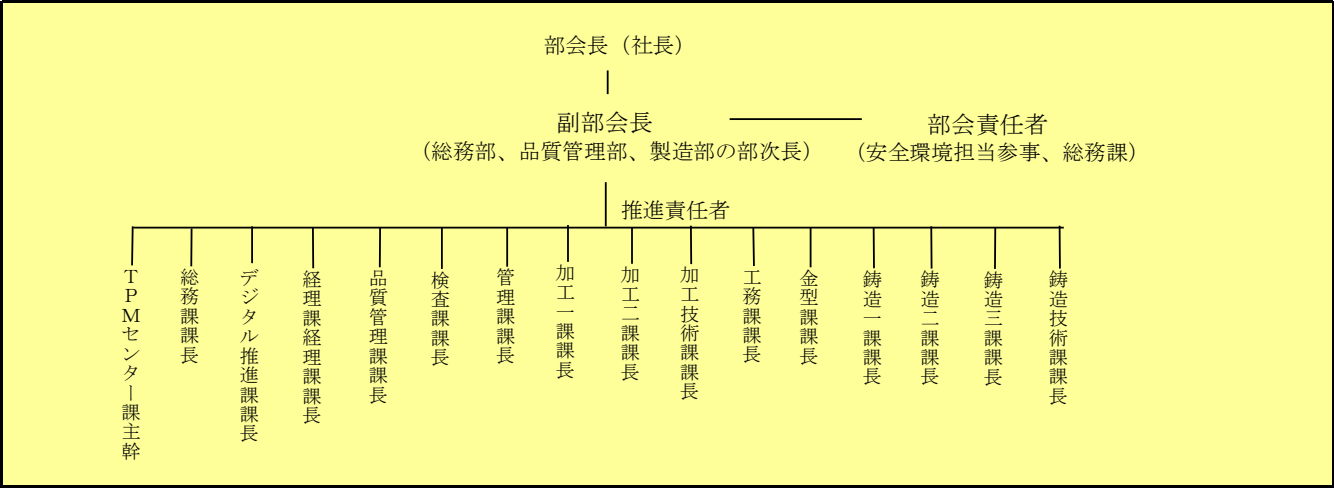
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物の削減	リサイクル率99.0%以上の維持を目標とする。	廃棄物の分別を図り、リサイクル推進する。
2	社会貢献	県道清掃を年に2回、福祉機材等の寄贈を年に1回行う。	1. 会社周辺の県道清掃の実施 2. アルミ缶回収の収益金等により福祉機材を寄贈
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎年度の取り組み状況・点検については、定期的に見直しを行い、評価内容については計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

リョービグループの環境報告書で毎年の状況を公表しています。